



アクプラ[®] 静注用(ネダプラチン)の
治療を受けられる患者様へ

アクプラ®静注用について

アクプラ®静注用(ネダプラチン)は、がん細胞のDNAに結合してその複製を妨げることでがん細胞の増殖を抑えるお薬です。頭頸部がん, 肺小細胞がん, 肺非小細胞がん, 食道がん, 膀胱がん, 精巣(睪丸)腫瘍, 卵巣がん, 子宮頸がんの治療に使用されます。

子宮頸がん
卵巣がん

食道がん
頭頸部がん

アクプラ®
静注用

肺がん

膀胱がん
精巣腫瘍



チェックシート

アクブラ® 静注用(ネダプラチン)による治療にあたって、十分な検査や診察が行われますが、患者さんご自身も、以下にあてはまる場合には医療スタッフへ伝えてください。

1.

薬を飲んで皮膚が赤くなったり、じんましんが出たり、息苦しくなったり、めまい、腹痛、吐き気などの症状がありましたか？

はい いいえ

2.

がん以外の病気で治療を受けていますか？

はい いいえ

3.

尿の量が少なかったり、手足がむくむなどの症状がありますか？

はい いいえ

4.

手足のしびれ、手足の痛み、歩行時のふらつきなどの症状がありますか？

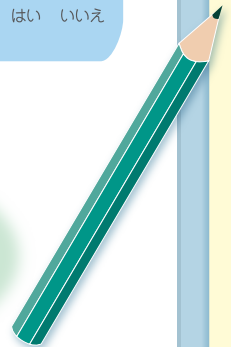
はい いいえ

5.

めまい、立ちくらみ、胸が痛む、息切れ、心臓がときどきする、脈拍が不規則などの症状がありますか？
あるいは過去にありましたか？

はい いいえ

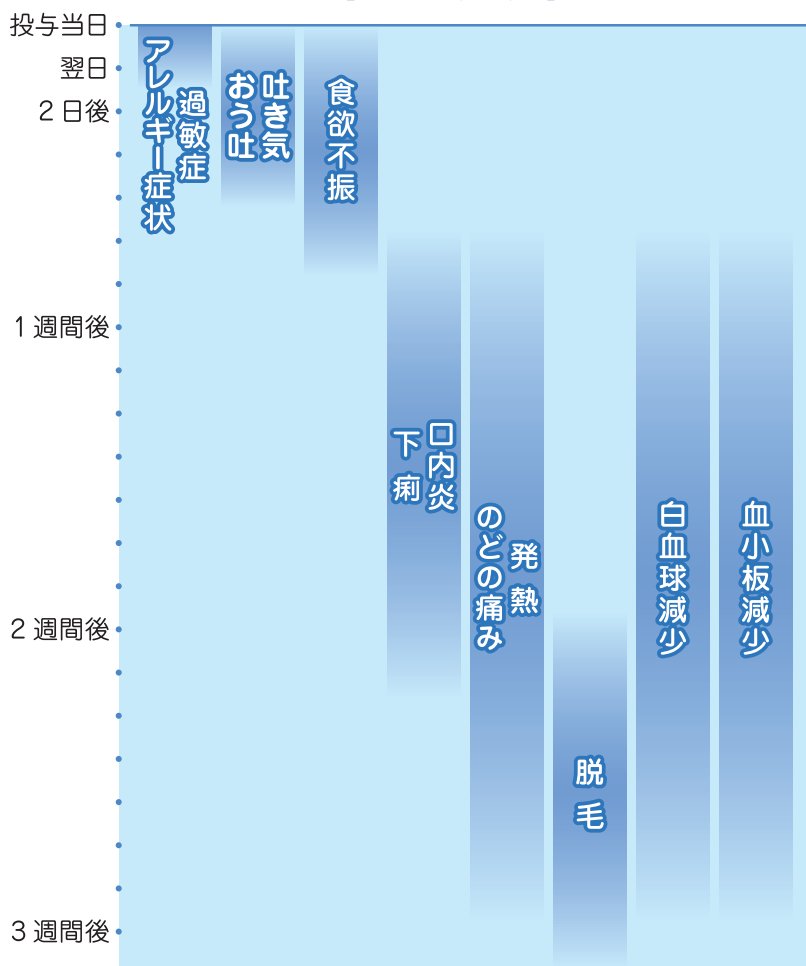
1つでも「はい」がありましたらお伝えください。



抗がん剤治療でみられる主な副作用

すべての患者さんに副作用があらわれるとは限りません。また、個人によっても副作用の症状や程度は異なります。あらかじめ副作用を知っておくことで、適切な対応が早くできますので、症状の悪化を防ぐことができます。

[主な副作用]



点滴中に以下のような症状があらわれたときはすぐに医師・看護師にお知らせください。

過敏症、アレルギー症状

- 急に気分が悪くなる（汗が出る、寒気がする、めまいがするなど）
- 急に全身が痒（かゆ）くなる（湿疹が出る）
- 急に脈が早くなる
- 頭痛・耳鳴りがしてくる
- 唇や舌・手足がしびれてくる
- のどに違和感が出てくる
- 声がかすれてくる
- 息苦しくなる

その他、点滴中に以下のようなことがあれば、すぐに医師・看護師にお知らせください。

- 注射しているところからお薬がもれている
- 点滴しているところが痛い、腫（は）れて（水ぶくれができて）いる、赤くなっている、熱を持っている

吐き気・おう吐，食欲不振

このお薬の治療を受けた後，気持ちが悪くなり食事がとれなかったり吐いたりすることがあります。

吐き気やおう吐を予防するためのお薬を投与することがあります。しかし，吐き気やおう吐の症状のあらわれかたは人によって異なります。

日常生活で気をつけていただきたいこと

- 身体を締め付けないように，衣服を緩めてください。
- 吐き気のあるときは脂っこいもの，においの強いもの，味の濃いものは避け，食べたいものを食べたいときに食べるようにしてください。（あたたかいものより冷たいものの方が食べやすい場合が多いです。）
- 食事はゆっくり少しずつ時間をかけて食べてください。
- 音楽を聴くなどリラックスしましょう。



腎臓への影響

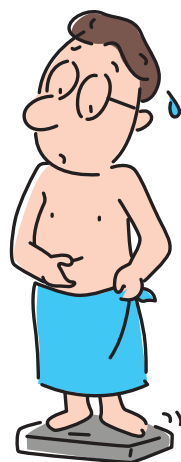
このお薬の副作用により、尿量が減る、むくみ、体がだるいなどの症状があらわれることがあります。腎障害は予防対策が大切です。

このお薬は尿中に排泄されますので、すこしでも早く排泄させるために治療を受けた日はいつもより多めに水分を取ってください。

日常生活で気をつけていただきたいこと

- このお薬の投与終了後、吐き気・おう吐、食欲不振など消化器の不調があらわれることがあります。水も飲めないなど、脱水症状がつづきますと、腎臓の働きも低下します。このような症状があらわれた場合は、すぐに主治医を受診してください。

参考：厚生労働省 重篤副作用疾患別対応マニュアル 急性腎障害(急性尿細管壊死)
平成19年6月(平成30年6月改定)



骨髄抑制（感染症・出血しやすい）

白血球，血小板，赤血球など血液の細胞成分は骨髄でつくられます。骨髄でつくられる細胞成分はこのお薬の影響を受けやすく減ってしまいます。特に，白血球や血小板の数は抗がん剤治療後しばらくたってから減るため注意する必要があります。

白血球（特に好中球）は患者さんの身体を感染から守る働きをしています。そのため，白血球が減ると感染症を起こしやすくなります。

血小板は出血したときに血を止める働きをしています。そのため，血小板が減ると内出血したり，血が止まりにくくなることがあります。

日常生活で気をつけていただきたいこと

- 感染症にかからないよう，人ごみに出かけることは極力避けてください。
- 外出時にはマスクを着用しましょう。
- 外出から戻ったらうがい，手洗いをしましょう。
- 咳が出たり，のどが痛かったり，息苦しくなったりした場合はすぐに医師に連絡してください。
- 運動は軽めに，けがをしないよう注意してください。
- 歯はやさしくみがき，鼻はやさしくかんでください。

参考：厚生労働省 重篤副作用疾患別対応マニュアル

出血傾向 平成19年6月(令和4年2月改定)

無顆粒球症(顆粒球減少症，好中球減少症) 平成19年6月(令和4年2月改定)

薬剤性貧血(溶血性貧血，メトヘモグロビン血症，赤芽球ろう，鉄芽球性貧血，

巨赤芽球性貧血) 平成19年6月(令和3年4月改定)

血小板減少症 平成19年6月(令和4年2月改定)



難聴・聴力低下

人の声や音が聞こえづらい、耳鳴り、耳がつまる感じがするなどの症状があらわれることがあります。

日常生活で気をつけていただきたいこと

- 特に高音域の音が聞こえにくくなることがあるため、電子音が聞こえないなどの自覚症状に注意し、症状に気づいたら、すぐに医師に連絡してください。

参考：厚生労働省 重篤副作用疾患別対応マニュアル 難聴(アミノグリコシド系抗菌薬、白金製剤、サリチル酸剤、ループ利尿剤による) 平成22年3月(令和4年2月改定)

間質性肺炎

このお薬の投与により肺に炎症が起こり、呼吸が苦しくなったり、咳がでる、発熱する場合があります。

日常生活で気をつけていただきたいこと

- 風邪と区別しにくいいため、風邪のような症状がでたら、ご自身で判断せず主治医、医療スタッフに相談しましょう。

参考：厚生労働省 重篤副作用疾患別対応マニュアル 間質性肺炎(肺臓炎、胞隔炎、肺線維症) 平成18年11月(令和元年9月改定)

脱毛

治療開始2～3週間後から徐々に抜け始めます。
頭髪だけでなく眉毛や体毛も抜けることがあります。
治療による脱毛は一時的なものです。
治療が終了すると徐々に戻ります。
髪が生える時に、色の変化（白や茶色くなるなど）や髪質の変化がみられることがあります。

日常生活で気をつけていただきたいこと

- 頭皮を傷つけないように爪を短く切ってください。
- 洗髪の回数を減らしシャンプーは中性のものを使用してください。
- ブラシは柔らかく目の粗いものを使用されるとよいでしょう。
- 医療用かつらや帽子を準備されるとよいでしょう。
予防法や育毛についてもご相談ください。

この他にも気になる症状があらわれた場合には、**医師または薬剤師に気軽に相談**してください。



よくある質問

治療のこと、日常生活でわからないことがあれば遠慮なくお話しください。主治医の説明でわからないこと、聞き漏らしたことなども、そのままにしないでご相談ください。

Q1. 何となくだるく感じますが、副作用でしょうか

身体に力が入らなかつたり、だるく感じたり、疲れやすくなつたりすることがあります。

我慢しないで医師や看護師にお知らせください。

Q2. サプリメントや健康食品は摂ってはいけませんか

問題となることはほとんどありませんが、念のために、どのようなサプリメントや健康食品を飲まれているのか、事前に医師・看護師・薬剤師にお知らせください。



医療機関名